

世界の若者 山形奮闘記

第6回

～海外出身の山大卒業生～

私の郷里—大連

株式会社ウエノ 李 澤桐



光陰矢のごとし。今年は来日して4年目になる。日本に来た時、言葉があまり通じず、生活習慣が全く違い、不安なことがたくさんあった。時間が経つにつれ、地元の方々と交流するようになり、日本語だけではなく、日本の歴史、伝統文化などを教えていただいて、今は日本での生活にだいたい慣れた。日本に来る前、私が生まれ育ち、約20年過ごしたのは中国の大連である。ここには、いろいろな美しい思い出がある。今回のコラムでは、私の郷里について、ご紹介させていただきたいと思う。

大連は三方が海に囲まれ、中国東北地方の最南端に位置する半島にある都市である。大連は中国北方において有名な港があり、工業、貿易、観光が盛んな都市である。「最も大きいことを求めず、最も良いことを求める」が大連の信条である。大連は、100年前、フランス文化に興味を持っていたエンジニアが国際都市を目指し、東方のパリを作ろうと、パリの都市建設の設計図を持って来たことから、現在の街並みが作られた。ここに東方のパリがもう一つ建築できることを期待した。そこで、大連の特色を形成し、広場を中心にして、すべての方面に町が広がるようにつくられた。小さいところでも、道が放射状に伸びていて円形の場所は広場と呼ばれる。海の韻広場、希望広場、星海広場、友好広場、人民広場、オリンピック広場、海軍広場などがあり、資料によると、大連には、80余りの広場があり、アジアでも広場が多い都市の一つだという。広場にはそれぞれ特徴があり、それらの姿は大変異なっているが、どこも緑地、白鳩、彫塑、噴水など、美しく、壮大で、味わいがある。全国でも珍しい馬に乗る女性警察官もいる。

大連では一年を通し、行事が多く、地方の文化

を体現することができる。国際槐花（アカシア）祭り、マラソン大会、ウォーキング大会、大連国際ビール祭りなどがある。大連国際服装節（ファッション祭り）も有名な祭りの一つであり、「食べ物 は広州、遊びは上海、衣服は大連」という言い方があるそうだ。大連の女性はおしゃれで、服に工夫を凝らしていることは中国でも有名である。ファッション祭りは今年で28回目を迎える。また、スイス・ダボスで開かれる世界経済フォーラム（ダボス会議）の新興国・新興企業版「夏季ダボス会議 Summer Davos」の第1回会議が大連で2007年に開催された。その後、2008年の第2回、2009年の第3回、2011年の第5回も大連で開催された。このダボス会議が大連に外資を導入し、外国企業、特に日本企業の進出が著しくなるきっかけとなったと言われている。東芝、三菱電機、SONY、富士通、日本電産、Canon、マブチモーター、三島食品、アイリスオーヤマ、OMRON、ロームなど、わが社も含め、多数の企業が進出し、良好な発展トレンドを見せている。

大連はこのように魅力に満ちた都市である。大連は中国東北地方の商業貿易、金融、情報、観光の中心地である。陽光、海、砂浜があって、冬は暖かく、夏は涼しい、旅行に最高のところだ。大連をぜひお訪ねください！

李 澤桐（リ・サフトウ）

中国遼寧省大連市出身。

大連海外大学卒業後、山形大学理工学研究科ものづくり技術経営学部博士前期課程修了。

2015年株式会社ウエノ入社。